



書道家  
武田双龍



先月の「綺麗な人・イカす人」珠玉の言葉  
須藤理彩

×



## 第十二筆 適当

### 須藤理彩

いいかげん、ということではなくて、適切に合わせていくという意味での「適当」です。最初はひとつのことにとられるタイプでした。これが今すぐできないといけないと思ってしまう。しかし、だんだんと臨機応変にやれるようになっていくと、できないものはできないと言えるようになったんですね。ちゃんと後回しにできるようになったりとか。時間をおくと、意外とできたりとか。そういうことがすごくメンタルにいい影響を与えてると思います。

### 武田双龍

自然に、美しく人生を愉しんでいらっしゃる須藤さんを書き起こしました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。  
<http://so-ryu.com/>